

平成25年度 第3回 緩和ケア勉強会のご報告

平成25年度第3回の緩和ケア勉強会は、8月8日に開催いたしました。出席人数は、65人、うち院内14人、院外51人でした。今回は在宅医療機関の活動報告として、訪問看護ステーション陶の里・ケアプランセンター陶の里の活動について訪問看護師・ケアマネジャー・理学療法士の立場から経験された実際の事例を含めてお話をいただきました。また、緩和ケアチームからは、櫻井がん化学療法看護認定看護師より外来化学療法と在宅医療機関の連携について、奥村がん看護専門看護師より患者を中心とした関わり方についてお話をいたしました。

アンケートでのご質問について、コメントを添えさせていただきます。

ご質問・意見とそのコメント

1. PCUとは？

→Palliative Care Unit の略で緩和ケア病棟の意味です。ちなみに PCT は Palliative Care Team の略で、緩和ケアチームの意味です。PCU や PCT など略して使用することが多いです。（伊藤）

2. 外泊日の訪問看護について別紙参照とありますが、別紙がありませんでした。教えてください。

→申し訳ありませんでした。（陶の里訪問看護ステーション高須賀）

《厚生労働大臣が定める疾病》

（平成22年厚生労働省告示第74号、第75号）が交付され、平成22年4月1日から適用されることになりました。厚生労働大臣が定める疾病などは以下の疾患または状態が対象になります。

- ・末期の悪性腫瘍
- ・重症筋無力症
- ・筋萎縮性側索硬化症
- ・ハンチントン病
- ・パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病（ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって、生活機能障害度がⅡ度またはⅢ度のものに限る））
- ・多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症およびシャイ・ドレーガー症候群）
- ・プリオン病
- ・多発性硬化症
- ・スモン
- ・脊髄小脳変性症
- ・進行性筋ジストロフィー症
- ・ライソゾーム病
- ・副腎白質ジストロフィー
- ・脊髄性筋萎縮症
- ・球脊髄性筋萎縮症
- ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎
- ・後天性免疫不全症候群
- ・頸髄損傷または人工呼吸器を使用している状態及び急性増悪期の場合

※赤字は平成24年4月から追加で対象となった疾患

＜特別管理加算＞

特別管理加算を算定できる状態]

イ. 医科診療報酬点数表に掲げる

- 在宅悪性腫瘍患者指導管理 を受けている状態
- 在宅気管切開患者指導管理 を受けている状態
- 気管カニューレ若しくは留置カテーテル を使用している状態

ロ. 医科診療報酬点数表に掲げる

- 在宅自己腹膜灌流指導管理 を受けている状態
- 在宅血液透析指導管理 を受けている状態
- 在宅酸素療法指導管理 を受けている状態
- 在宅中心静脈栄養法指導管理 を受けている状態
- 在宅成分栄養経管栄養法指導管理 を受けている状態
- 在宅自己導尿指導管理 を受けている状態
- 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理 を受けている状態
- 在宅自己疼痛管理指導管理 を受けている状態
- 在宅肺高血圧症患者指導管理 を受けている状態

ハ. 人工肛門または人工膀胱を設置している状態

二. 真皮を超える褥瘡の状態

ホ. 点滴注射を週3日以上行う必要があると認められる状態

3. 緩和ケア病棟との連携は訪問看護ステーションがついていない事業所でもできますか？

→緩和ケア病棟との連携においては原則訪問看護ステーションとなりますが、訪問看護のない居宅サービス事業所と訪問看護ステーションが連携をとっていただくとありがたいです。(山本)

陶の里訪問看護ステーションと他のケアマネ事業所でも連携はとれますか？

→もちろんできます。ぜひお声かけ下さい。(陶の里訪問看護ステーション高須賀)

メリット：訪問看護とケアマネが同じ事業所だと利用者が言えない事もあるかも・・・他の事業所なら言えるかもしれません。

デメリット：同じ事業所との連携を比べると、多少速さがかけるかも・・・

ご意見・ご感想、どうもありがとうございました。今後もどしどしご意見をお寄せください。

地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院
地域医療連携センター FAX: 0572-22-7948
緩和ケア部 Mail: kanwa@tajimi-hospital.jp